

沖縄県理学療法士連盟

令和7年度8月 第3回沖理連定例会 議事録

日時:令和7年8月21日(木)19時～

議案作成:當間

議事録作成:宮城

場所:オンライン会議

参加者:■末吉恒一郎 □立津統 □武富新太郎 □玉城すみれ □下里真司 ■當間智史
■池城正浩 ■砂川真利香 ■比嘉憲彦 ■兼島広樹 ■宮城夏希 ■西原美樹
□吉岡裕太 □牧之瀬七恵 □下地浩之 □石垣肇 □瀬底正仁 □仲西里野
■小嶺衛 □新垣健

議案・報告事項:

○懇談事項

① HP 進捗状況:(下里広報企画部長、當間)

・12月議事録、研修会(下記2つ)、総会案内、入会案内 500 円→1,000 円修正、Peatix
令和7年度上半期、案内文書変更、未掲載

・入会申込/寄付金申込(Peatix・通帳記帳運用)状況(當間委員)

7月17日時点入会状況、残高状況 394,498 円

令和4年度:入会人数:140名 会費:61,500 円 寄附金:51,500 円。

令和5年度:入会人数:65名、会費:30,931 円、寄附金:20,199 円、残高:232,489 円

令和6年度:入会人数:127名、会費:63,500 円、寄附金:38,000 円

令和7年度:入会人数:名(Peatix:名、銀行:名)、会費:円、寄附金:円

② 田中昌史全国後援会沖縄振り返り(池城副支部長、末吉支部長会長):事前資料参照

・今回は残念な結果になった。88432票 18位(13万票は必要だった)

・沖縄県 得票数1575票 全国の中央値は上回った。

・会員の得票数 80.8%(18位)。

・件の特徴としては応援者が多い。

・名簿投票率は全国10位。

・全国的に得票数が2019年を下回っていた中、沖縄県は上回っていた。

・応援者名簿の影響は強い印象。

・応援者を多く集めることができていたが、詳細としてはリハ職の名簿は集まらなかった。

・目標比、沖縄は全国平均を上回った。

・協会会員が動かないことには勝てない。

・首都圏の提出率が軒並み悪い。今後は遊説演説など首都圏に力を入れて行う必要がある印象。

・今後の課題として会員の名簿を集められるようにしていかなければいけない。

・50周年記念誌を配布しながら巡回できたので受け入れ施設が多かった。受け入れやすくなっていたと考える。

- ・どうしたら若年層に伝わるのか？

- ・WEBでの後援会入会率が低い。沖縄県は後援会入会率が1%。全国では0.4%。

- ・施設訪問も少なかった。

- ・他県では諦めムードが流れていた。目標値が高かった。もっと正確な目標値を掲げていかなければならないという話も挙っていた。得票数が前回を下回っていた。(比嘉事務局長)

- ・356票、山口和之氏に入っている。➡自民党逆風か？一部、山口和之氏を推す団体が沖縄にもいる。(比嘉事務局長)

- ・投票の必要性をもっと考えてもらえるようにしていきたい。自分たちの未来に関わることで体感させないと意識向上は望めない。連盟は集中的に地域などを絞って働きかけていく。これまで連盟が頑張ってきた活動が変化が乏しい。これからわかってもらう活動をしていく。人口の多い地域に積極的に働きかけていく。田中先生の落選はとても残念。これ以上、国政に影響及ぼせる人材はいないと思う。学生や若年層には丁寧に説明していく必要がある。逆に中年層の投票率が低いのではないか？という事も視野に入れ、どうしたら多くの会員に伝わるのかを考えていきたい。(兼島監事)

- ・大都市での得票率が低かったのが疑問。自分事として意識してもらうためには(砂川副会長)

- ・10月のない表を見て検証していきたい。前回比、インフォメーションはしやすくなっていた。(西原委員)

- ・皆さんが頑張っていたいただいた結果。協会と連盟が力を合わせて強く動いて行かないといけない。短期間でご尽力いただいた事で色んな活動ができた。みなさんに感謝している。今回は給与面の話を強調しすぎた点も少し反省点かと振り返る。(池城会長)

- ・地域推進リーダー、介護予防推進リーダーの教育。自分たちの実働と絡めイメージしやすくなる。(當間委員)

- ・賃上げがなかなか響かなかった。田中先生の働きと結びつけるイメージがつきづらい。次回は座談会の機会を増やす。議員の方々との交流を増やす(組織団体だけでなく)。(末吉幹事)

- ・介護事業者連盟と田中先生が共倒れ状態となってしまった。両者がまともだと得票が伸びるのではないかという声も上がっていた。皆様の頑張りに感謝しますと話していた。(比嘉事務局長)

③ その他

- ・11月15日(土)くる糸満にて学会が控えている。

次回開催 令和7年10月16日(木)19:00～(第3木曜日)